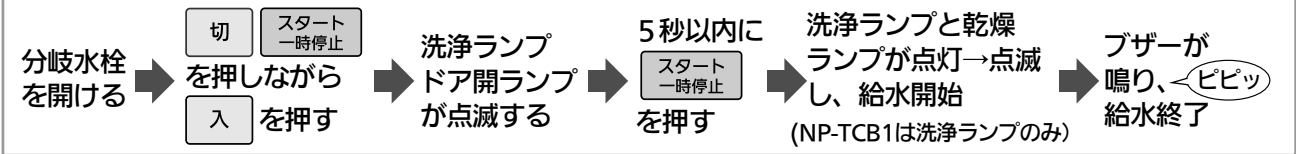
5 試運転

必ず試運転・点検を！
（試運転・点検しないと、水漏れのおそれがあります）

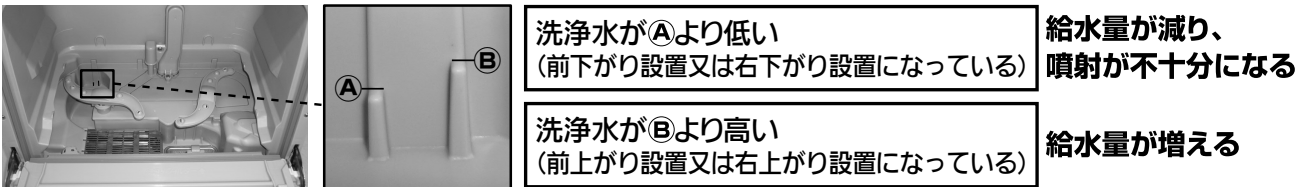
1．水平に設置できているか点検

❶ かごを取り出し、ドアを閉めてから、「●試運転のしかた」に従って試運転を開始する。

●試運転のしかた

分岐水栓を開ける ➡ [切] [スタート 一時停止] を押しながら [入] を押す ➡ 洗浄ランプ ドア開ランプが点滅する ➡ 5秒以内に [スタート 一時停止] を押す ➡ 洗浄ランプと乾燥ランプが点灯→点滅し、給水開始（NP-TCB1は洗浄ランプのみ） ➡ ブザーが鳴り、（ピピッ）給水終了

❷ ブザーが鳴ってから10秒以内に電源を切る。（[切] を押す）

❸ ドアを開け、水位が線Ⓐの上端と線Ⓑの上端の間にあることを確認する。

洗浄水がⒶより低い（前下がり設置又は右下がり設置になっている）	**給水量が減り、噴射が不十分になる**
洗浄水がⒷより高い（前上がり設置又は右上がり設置になっている）	**給水量が増える**

❹ 傾きがある場合は庫内の水を排水し、調整脚（付属）を取り付けて高さを調整してから、上記❶～❸を繰り返す。傾きがない場合は排水して次の点検に進む。

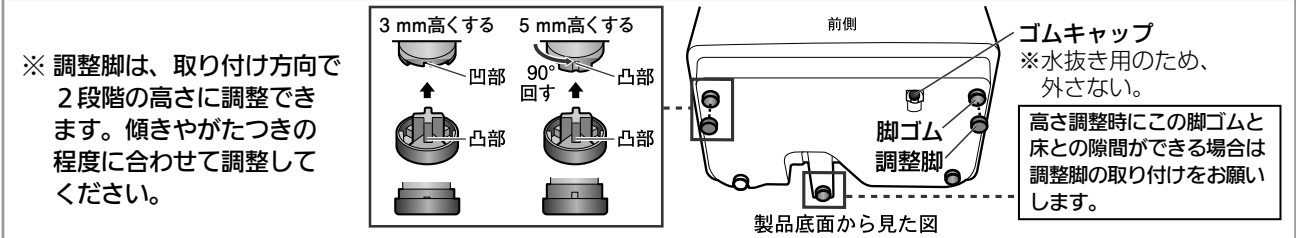
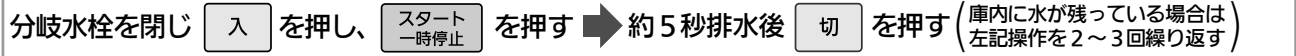
●調整脚の取り付けかた

※ 調整脚は、取り付け方向で2段階の高さに調整できます。傾きやがたつきの程度に合わせて調整してください。

製品底面から見た図

高さ調整時にこの脚ゴムと床との隙間ができる場合は調整脚の取り付けをお願いします。

●排水のしかた

分岐水栓を閉じ [入] を押し、[スタート 一時停止] を押す ➡ 約5秒排水後 [切] を押す（庫内に水が残っている場合は左記操作を2～3回繰り返す）

2．水漏れ・異常音・排水異常がないか点検

❶ 上記「●試運転のしかた」に従って再度運転する。
ブザーが鳴ってから洗浄運転が始まり、異常がなければ約4分後に自動終了する。

❷ 異常があればブザーと操作部の表示で異常報知する。（取扱説明書参照）
※試運転時、庫内に泡立ちが発生しますが異常ではありません。

チェックしてお客様にお渡しください

- ☐ 本体は水平に設置され、ぐらつき、傾きはありませんか？
- ☐ 給水ホース接続部の緩み、ぐらつき、傾きはありませんか？
- ☐ 給水ホースと本体接続部から水漏れはありませんか？
- ☐ 分岐水栓と給水ホースの接続部から水漏れはありませんか？

排水ホースについて

- ☐ 接続部の緩み、ぐらつき、傾きはありませんか？
- ☐ 折れ曲がったり、巻かれていませんか？
- ☐ 20 cm以上持ち上げられていませんか？

パナソニック株式会社　ランドリー・クリーナービジネスユニット
〒525-8555　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号
電話　077-563-2155（大代表）

P9902－01G20
S1111－2204
（NP－TCタイプ）

Panasonic®

据付説明書

食器洗い乾燥機（家庭用）
品番　NP-TCR1　NP-TCM1

食器洗い機（家庭用）
品番　NP-TCB1

設置をされる方へ
据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。
設置後は必ず試運転を行い、チェックをしてお客様にお渡しください。
●据付説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置された場合に事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

お客様へ
●転居などで再度設置をする場合がありますので、この説明書は設置後も「取扱説明書」とともに保管してください。

1 分岐水栓

ご自宅の水栓の形に合わせて分岐水栓をお買い求めください

取り付け例：取り付け前 ← 分岐水栓（ここに取り付け） ➡ 取り付け後

●分岐水栓の選び方
http://panasonic.jp/bunki/
●給水管から分岐させる、給水コンセントも便利です。
●詳しくは水栓メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

水道水圧の確認

●給水圧力は0.03 MPa～1 MPaの範囲でご使用ください。台所の水栓等の使用時に水道配管の異常音（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は所定の減圧弁を必ず取り付けてください。
●給水流量は、水栓全開時で毎分8 L以上必要です。
●給水圧力・給水流量の確認は水道工事事業者または お買い上げの販売店にご相談ください。
●水圧が低い場合は、運転時間が長くかかることがあります。

給湯機に接続する場合の確認

●給湯の場合は10号以上の先止め式給湯機に接続してください。元止め式の湯沸器には、号数に関係なく絶対に接続しないでください。
●給湯機をご使用の場合は、給湯温度を60 ℃以下に設定してください。
●温度設定ができない高温給湯タイプの給湯機（60 ℃以上）の場合は接続できません。給水接続にしてください。
●新たに給湯機に接続される場合は水道工事事業者・お買い上げの販売店にご相談ください。（特に高水圧地域では、給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。）

2 据え付け準備

据え付け場所

しっかりとした、水平な面に設置してください

本体上方の空間はできるだけあけて設置してください。（天面から6 cm以上）
排気口から蒸気が出て、結露の原因となります。

後方 0.5 cm以上
設置面から 52 cm以上確保（天面から6 cm以上確保）
壁との間をあける 側方（左右）0.5 cm以上

段差があるときは専用ステンレス置き台（別売：例　N-SP3）が便利

消防法 基準適合 組込形　可燃物からの離隔距離(cm)			
上方:1.0	側方:0.5	後方:0.5	下方:0

⚠警告

❗ ガスコンロなどの熱源から15 cm以上離す（火災のおそれ）

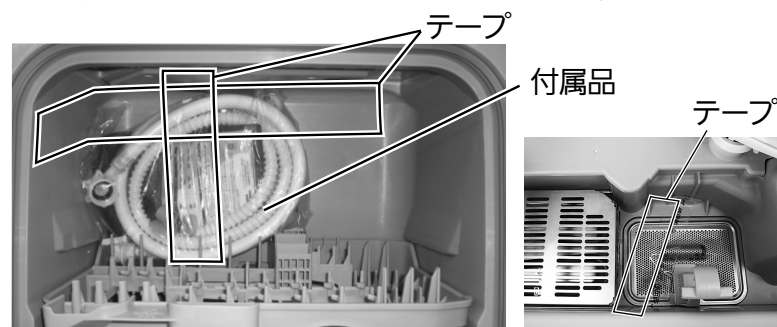
15 cm以上

次のような場所には設置しない
・直射日光の当たる場所
・冬期凍結（室温0 ℃以下）のおそれがある場所（故障・変形などの原因）
・平らでなく、しっかりとしていない場所（水漏れや誤動作の原因）
・ドアの真横にコンセントがきている（感電やショートの原因）
・カーペットの上（底部の通気口をふさぐおそれ）

本機及びキッチンの金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。法令により義務づけられています。法令：電気設備の技術基準の解釈

3 据え付け 据え付けかた

初めて使うとき

付属品とテープは必ず取り外してください

残さいフィルター部

付属品は捨てないでください。
（取扱説明書ご参照）

異常ではありません

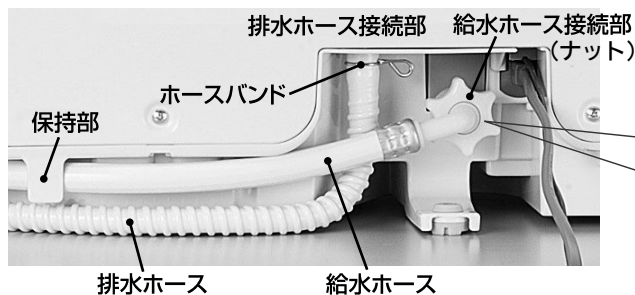
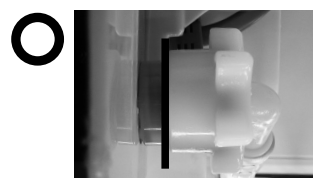
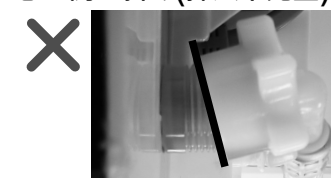
● 開梱時の水滴残り。
(出荷時の注水検査によるもの)

● ・庫内に白く濁った水が残っている。
・最初の運転で庫内に泡立ちが発生する。

(庫内に乾燥仕上げ剤を塗布しているため)

1. 分岐水栓を取り付ける

※ 分岐水栓の開閉コックを閉じておく。

2. 排水ホース→給水ホースの順に本体につなぐ（本体背面・下部）

良い例：まっすぐ

悪い例：斜め(挿入不完全)

⚠注意 ❗ **ナットはしっかり締めつける**
（水漏れの原因）

排水ホースのつなぎ方
排水ホースを接続部の奥まで差し込み、接続部をホースバンドで固定する。
（排水ホースの両端は同じ形状です。どちら側でも接続可能です。）

給水ホースのつなぎ方
①給水ホースの向きを決め、本体接続部に給水ホースを合わせる。
②ナットを本体接続部にまっすぐ押し当て、確実に締め付ける。
（締め付け後に給水ホースの向きを変えた場合は、再度締め付けの確認をする。）
③給水ホースを保持部に挿入して固定する。
（保持部は左右にあり、設置状態に応じて使い分ける。）

3. 給水ホースを分岐水栓につなぐ

1. 給水ホースのカバーとレバーを押し下げたまま水栓側に「パチン」と音がするまで差し込む。
2. 引いて、抜けないことを確認する。
3. 水栓のコックを開いて水漏れがないことを確認する。
4. 排水ホースを吸盤で固定する。

排水ホース
→長過ぎるときは切ってください。

お願い 給水ホースは、必ず付属の新品を取り付けてください。（古いものは使用しない）

給水ホースが水栓側に接続できないとき （分岐水栓の接続部に白い樹脂部品がついている場合）

水圧がかかっている場合、接続できません。右図の手順で水圧を抜いてください。

※手順②のとき、分岐コック内部に残っている水が少量出ます。給湯接続の場合、熱湯が出ることがありますので、ご注意ください。

①分岐コックのレバーを「とじる」にする。

②白い樹脂部品を下に動かす。

③給水ホースを分岐コックに取り付けた後、レバーを「ひらく」にする。

給水・排水ホースの長さが足りないとき

● 別売の給水ホースを接続する。
※ 延長はできませんので、長さの異なる(長い)ホースを準備してください。

2 m 用 : ANP1251-7235
4 m 用 : ANP1251-7245

● 別売の延長用排水ホースで延長する。
※ 付属の排水ホースに延長用排水ホースをホースジョイントを介して接続する。

付属排水ホース（1 m）　(別売) 延長用排水ホース：ホースジョイント　延長用排水ホース

1 m 用 : ANP 2 D-10
1.4 m 用 : ANP 2 D-14

※ 延長後の全長は2.5 m以内で接続する
(排水不良の原因)

4 電源接続 電源・アースの接続

（アースは確実に取り付ける）

⚠警告

❗ **電源プラグは、コードが下方向に出るように差し込む**

（上方向に出すと、プラグの接続が不安定になり、異常発熱による発火のおそれ）

■ 電源コンセントにアース端子がある場合

接地抵抗値（100 Ω以下）を確認してください。

■ 電源コンセントにアース端子がない場合

・電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
・アース工事は販売店または電気工事店に依頼してください。
（工事費は、本製品の価格には含まれていません。）

※できるだけ湿気の多い場所を選ぶ

電源コードの外し方

樹脂バンドの上部を矢印方向に押す。

樹脂バンド

●たこ足配線は絶対にしない。
●ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。（法令で禁止）
●漏電遮断器の設置について
このほかに必ず漏電遮断器の設置が必要です。使用する電源回路に漏電遮断器がない場合は、必ず取り付けてください。(法令で規定)（主幹に漏電遮断器が設けてある場合は必要ありません。）

漏電遮断器 【屋内専用漏電ブレーカー】
別売・例
品番(パナソニック)WH2402PK
定格電流・電圧：15 A　AC100 V
定格感度電流：15 mA

冬季ご使用にならない場合（寒冷地の別荘など）

万一、凍結してそのまま放置されると、給水弁や配管等の破損のおそれがあります。水抜き作業が必ず必要なため、お買い求めの販売店、または、お近くの水道工事事業者にご相談ください。

販売店様へ（水抜きの方法）
●作業は運転終了後、30分以上たってから行う。(やけどのおそれ)
●給水ホースを本体から取り外してホース内の水を抜く。
●底面にあるゴムキャップ（黒色）を外し、製品を前後左右にゆすり、中に残っている水を全部抜いた後、ゴムキャップを元に戻す。